

# 東京岡山県人会



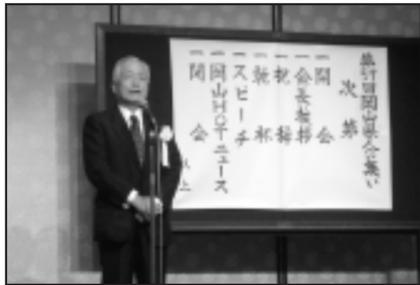
発行者：東京岡山県人会  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-6-3  
都道府県会館10階  
岡山県東京事務所 内  
TEL.03-5212-9080  
FAX.03-5212-9083  
E-mail:tokyo\_okayamaken@tdfk.or.jp

## 第五十七回岡山県人の集い 賑やかに開催

東京岡山県人会の平成十八年度総会と第五十七回県人の集いが、九月一日（金）、ホテルオークラ東京で約三百六十人の参加のもと盛大に開催されました。各界で活躍する県出身者のほか、地元岡山からは石井正弘岡山県知事をはじめとする行政関係者、さらには岡山経済界の代表者の方々にも多数参加していただき、懐かしいふるさととの話と味で交流を深めました。

まず、総会では、平成十七年度事業報告、平成十八年度事業計画が了承されました。引き続き開催された「県人の集い」では、小長会長（AOCホールディングス（株）相談役）が「懇親を深めて、人の輪を広げて頂きたい。」と挨拶されました。

続いて、平沼起夫衆議院議員、石井正弘岡山県知事から祝辞をいただいた後、橋本副会長（ドイツ証券（株）取締役会長）の首頭で故橋本龍太郎元首相を偲んで献杯を行った後、岡山の地酒による乾杯で、集いの幕が開かれました。



懐かしいふるさとの味に舌鼓を打ちながら親睦と交流を深め、近藤副会長（株）日本航空名誉顧問（の中締め）の挨拶まで、和やかな歓談の輪

が広がりました。昨年引き続き、各界で活躍の会員によるスピーチが行われたり、岡山デザインエシジョンキャンペーン（平成十九年四月～六月）、国民文化祭（平成二十二年に岡山で開催）のPRや首都圏情報発信「岡山屋」の取組なども伝えられ、賑わいのある集いとなりました。さらに、岡山県出身者の大学生で構成されている青年会の学生がスタッフとして貢献し、若い力みなぎる県人の集いとなりました。

## ももっこカード

### 誕生

急速に少子化が進行する中、岡山県では、社会全体で子育てを支援していくために、企業等との提携・協働により、子育て家庭に対する各種優遇制度を導入しました。

これは、妊娠中の方や小学校六年生までの児童を持つ家庭に対し、「ももっこカード」を交付し、このカードを提示することによって協賛企業などで独自の特典が受けられるというもので、現在千二百の店舗等から協賛いただいています。

具体的には、銀行ローン商品の金利優遇や、託児所の開放デー、保育所・幼稚園・塾等への送迎や出産に伴うタクシーの優先配車、映画館・美術館などの入館割引、その他割引やポイントの加算などサービス精神あふれる特典が目白押しです。

県では、岡山の未来を担う子どもたちの成長や子育てを応援し、今後も子どもが健康やかに生まれ育つ環境づくりに取り組んでいきます。



おかやま子育て家庭応援カード  
**ももっこカード**  
有効期限：平成21年3月31日

## 岡山とびす



## 安全・安心 まちづくり条例施行

近年、犯罪の多発に加え、幼い子どもが犠牲になる凶悪な事件が続発しており、その対策が急務となっています。そのため、岡山県では、地域の安全は地域で守るという基本理念の下、県や県民・自治会などの役割を定め、県民総ぐるみで、誰もが安全に安心して暮らせる犯罪のない社会をつくることを目的として、九月二十九日に「岡山県犯罪のない安全・安心まちづくり条例」を施行しました。条例では、啓発施策の一つとして、十月十一日から二十日までの間を「安全・安心まちづくり旬間」と定め、県民推進大会の開催や、犯罪ゼロの日（十三日）に、県内一斉自主パトロール、子ども見守り活動等を行い、県民の安全・安心まちづくりの活動への参加機運を盛り上げました。

## 第十九回 全国生涯学習フェスティバル 「まなびピア岡山2007」 開催に向けて



誰もが個性や能力を十分に発揮し、生き生きと生活するために、「生涯学習」の重要性がますます注目されています。「まなびピア」は、あらゆる世代の人々が参加・交流・体験しながら学びを身近に感じることが出来る全国規模の生涯学習イベントです。

岡山大会は平成十九年十一月二日から六日まで開催され、スローガンは「晴れの国キラリ☆輝く まなびの輪」です。大会では岡山らしさを生かした学びを「岡山発まなびスタイル」として全国へ発信するとともに、大会史上初の全市町村の参加により、各地域からもフェスティバルを盛り上げます。

大会マスコットの「マナビィ」は、「学び」とミツバチの「お」を合わせて名付けられたもので、漫画家・石ノ森章太郎さんのデザインによるものです。

今年の十一月二・三日に岡山県生涯学習センターで行われた「プレフェスティバル」では、大会イメージソングの発表や、

- 発表者、
- 吉備
- キビ桃
- 太郎体
- 操の実
- 演、地元
- 産にこだ
- わった桃
- 太郎鍋の販
- 売などが行
- われ、大いに
- 盛り上がりま
- した。

第19回 全国生涯学習フェスティバル  
**まなびピア岡山**  
**2007**

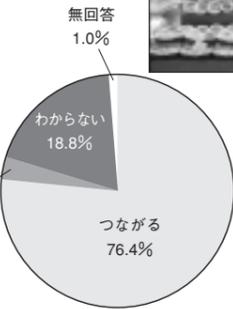
## 「岡山屋」の取組

岡山県では、七月十五日から九月三十日までの間、銀座や羽田空港等において首都圏情報発信実験事業を実施しました。県人会の皆様には、実験店舗「岡山屋」へ足をお運びいただきなど大変お世話になり有り難うございました。

岡山を代表する白桃、マスカット、ピオーネ等を中心に、味覚を通じた取組により、首都圏及び全国に向けて「岡山」を大いに印象づけることができました。



写真：岡山屋銀座店



● 岡山屋設置の評価 (岡山のイメージアップにつながるか) 来店者アンケート結果より

店舗名等	場所	期間	内容
岡山屋銀座店	銀座三越 (中央区)	7月27日(木)～9月4日(月)	白桃・マスカット・ピオーネ等、県産果物の宣伝・販売
岡山屋羽田店	羽田空港 (大田区)	7月15日(土)～9月30日(土)	白桃・マスカット・ピオーネ等、県産果物、ジャージー乳製品等の宣伝・販売
岡山物産展	銀座三越 (中央区)	8月1日(火)～8月7日(月)	岡山ならではの特産物の宣伝・販売 (ばら寿司、ジャージー乳製品、6次化商品等)
八芳園 白金夏祭り WITH 岡山	八芳園 (港区)	8月19日(土)～8月31日(木) うち10日間	県産食材を使ったレストランフェア 備前焼など特産品の宣伝・販売 備中神楽の実演

## 首都圏の中のお・か・や・ま

# 宇喜多秀家ゆかりの地——八丈島

伊豆諸島の最南端、東京から二八七キロの黒潮に浮かぶ南国情緒豊かな太陽と花と緑の島、八丈島。

豊臣五大老の一人で、岡山城主宇喜多秀家は、関ヶ原の戦いに敗北し、島津家・前田家の助命嘆願によって死罪を免れ、一六〇六年(慶長十一年)八丈島に流罪となった。八丈島は、江戸時代を通じて千八百人以上の流刑者が送られたが、その最初が秀家一行であった。

秀家は、二人の息子など一行十三人で渡島し、髪を下ろして「休福」と号し、一六五五年(明暦元年)八十四歳で亡くなるまでの五十年間をこの島で過ごした。

八丈島歴史民族資料館には、備前岡山の漁船が八丈島に漂着し、この船頭と海岸の岩の上で釣りをしていた老人(秀家)との問答など、興味深い資料が多数展示されている。

秀家の墓は、流刑生活を送った八丈島の大賀郷にあり、当初は卒塔婆型の細長い石に「南無阿弥陀仏」の名号を刻んだ墓石であったが、二元



■ 宇喜多秀家と豪姫の像 (背後は八丈富士)



■ 宇喜多秀家の墓と岡山城天守閣礎石

禄年間に「尊光院殿秀月久福大居士」と諡号し、その後、高さ六尺の五輪塔型の墓石に改められた。墓地を囲む石垣の上には、秀家が築いた岡山城天守閣の礎石の一部が運ばれ設置されている。

秀家が流罪に決まった時、妻豪姫は同行を望んだが受け入れられず、実家前田家で余生を送ることとなった。

前田家からは、一八六九年(明治二年)に一族が赦免されるまで、一年おきに白米七十俵と金子三十五両、衣類、雑貨、薬品など物資の仕送りが続けられた。

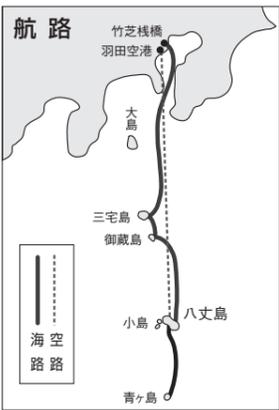
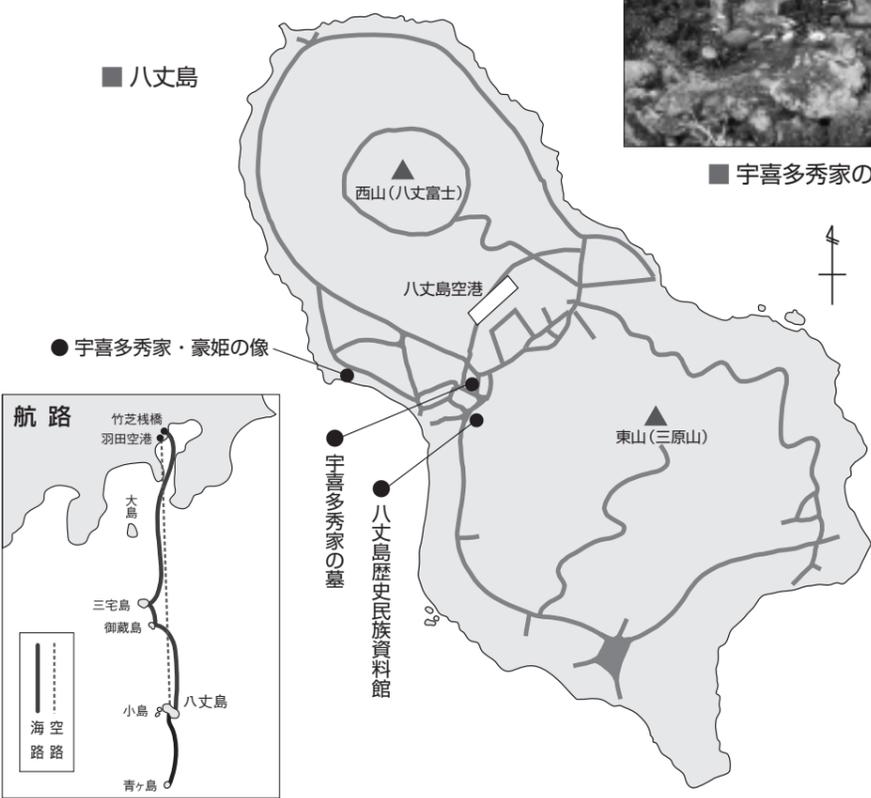
八丈島西岸に南原千畳岩と呼ばれる風光明媚な海岸がある。岡山城築城四百年という節目の年(平成九年)、秀家と豪姫の像が、この地に建てられた。二人は仲良く、岡山城の方角を見つめている。

八丈島観光協会では、十二月末まで「八丈島宝探し 宇喜多秀家伝説『扉の章』」という現地です実際に隠された宝物を探すイベントを開催している。

問合せ先：八丈島観光協会 (04996・21377)



■ 宇喜多秀家



## 首都圏でのイベント情報

- 第6回岡山県の物産と観光展  
日時：平成19年2月15日～2月21日  
場所：京急百貨店上大岡店
- 第2回四国・山陽の観光と物産展 (予定)  
日時：平成19年3月中・下旬(予定)  
場所：小田急百貨店新宿店
- 第2回山陰・山陽味街道 (予定)  
日時：平成19年3月中・下旬(予定)  
場所：小田急百貨店藤沢店

## 事務局からの お知らせ

■ 新規会員の御紹介  
県人会では、新しい会員を随時募集しています。職場、知人等で入会を希望される方がおられましたら、入会申込書を送付しますので、事務局まで御連絡ください。

■ 住所等変更手続き  
県人会では、会員の皆さまに観光、特産品等の情報を提供したり、会員名簿の配布等を行っています。住所等の変更が生じた場合には、必ず事務局まで御一報ください。

■ 県人会会報に関する御意見等の募集  
今後会報をよりよいものとするため、内容等について、皆さま方からの御意見・御要望をお待ちしています。

■ 連絡先  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-6-3  
都道府県会館10F 岡山県東京事務所内  
東京岡山県人会事務局  
TEL 03-5212-9080  
TEL 03-5212-9080  
FAX 03-5212-9083  
E-mail tokyo\_okayamaken@tdfk.or.jp  
http://www.pref.okayama.jp/somu/tokyo